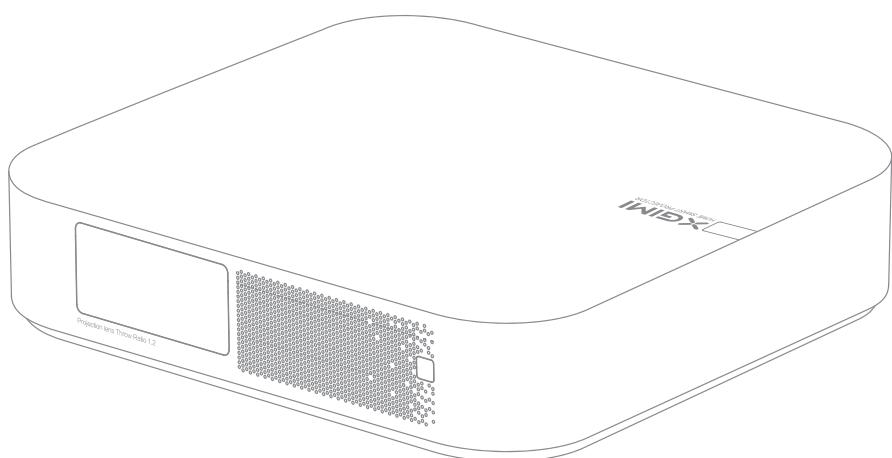


XGIMI ElFin

USER GUIDE



日本語	1
English	26

本製品を使用する前に、製品取扱説明書をよくお読みください

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. (以下「XGIMI Technology」または「XGIMI」) の製品をご購入、ご利用いただきありがとうございます。お客様の安全と利益のために、本製品を使用する前に製品取扱説明書をよくお読みください

本製品を適切または安全に使用しなかったために生じる可能性のある人身傷害、財産に対する損害、その他の損失について、XGIMI Technologyは一切の責任を負いません

製品取扱説明書（以下「本説明書」）について

本説明書の著作権は、XGIMI Technologyに帰属します

本説明書に記載されている商標および名称は、各権利所有者に帰属します

本説明書の内容と実際の製品との間に矛盾がある場合は、実際の製品が優先されるものとします

本説明書に記載されている内容または条項に異議がある場合は、購入後7日以内に書面でXGIMI Technologyに申し立てるものとし、かかる申し立てがない場合は、本説明書のすべての内容に同意し、理解して受け入れたものと見なされます

Google、Android TV、およびChromecast組み込み機能は、Google LLCの商標です

Googleアシスタントは特定の言語および国では利用できません。サービスの利用可能性は国および言語によって異なります



HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

High-Definition Multimedia Interface (HDMI) およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です



DTSの特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTS Licensing Limitedからのライセンスに基づき製造されています。DTS、DTS-HD、DTS Studio Sound、およびDTS-HDのロゴは米国およびその他の国におけるDTS, Inc.の登録商標または商標です。© 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

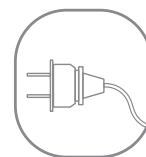
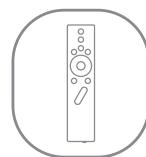
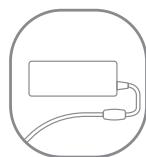


Dolby、Dolby Audio、Pro Logic、およびダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です

* モデル: XL03A

* XGIMI Technologyは、本説明書を解釈および修正する権利を留保します

内容物



XGIMIプロジェクター、アダプタ、電源コード、リモコン、ユーザーガイド、保証カード

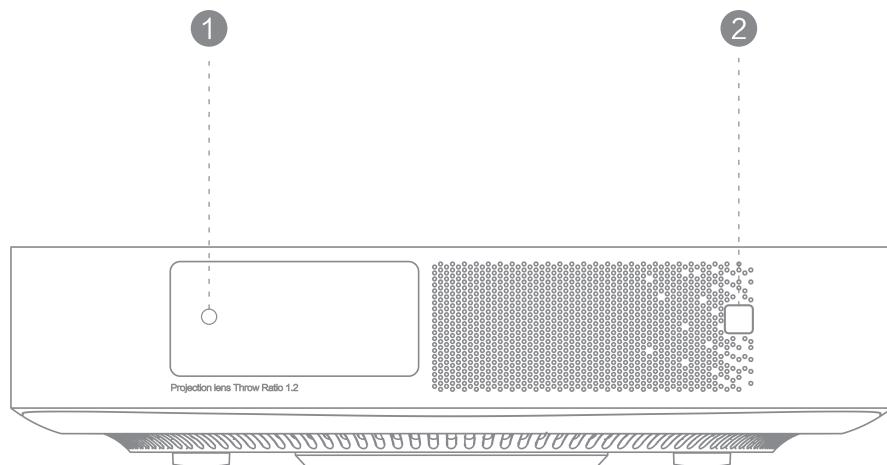
概要

1. 前面図

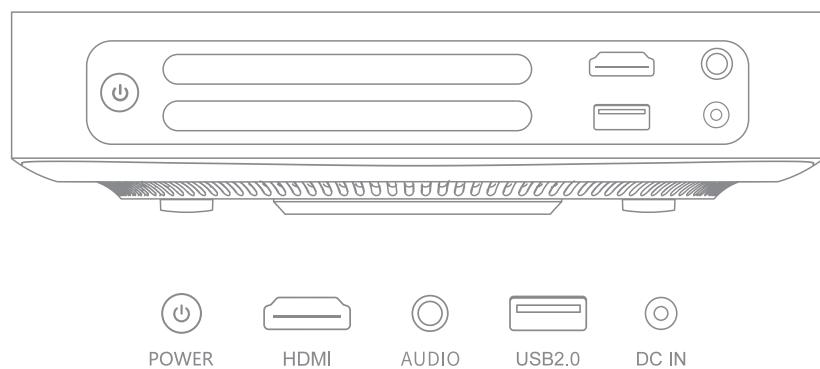
① 自動焦点 ToF部

② 自動キーストーン

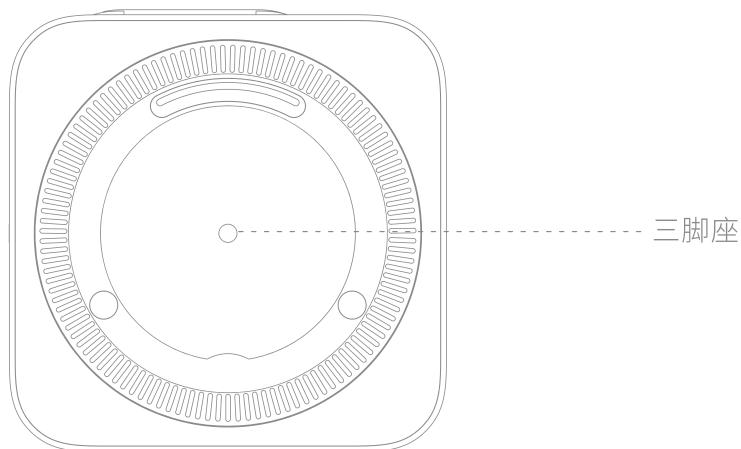
注: 台形補正の失敗を防ぐために、センサーを遮らないようにしてください



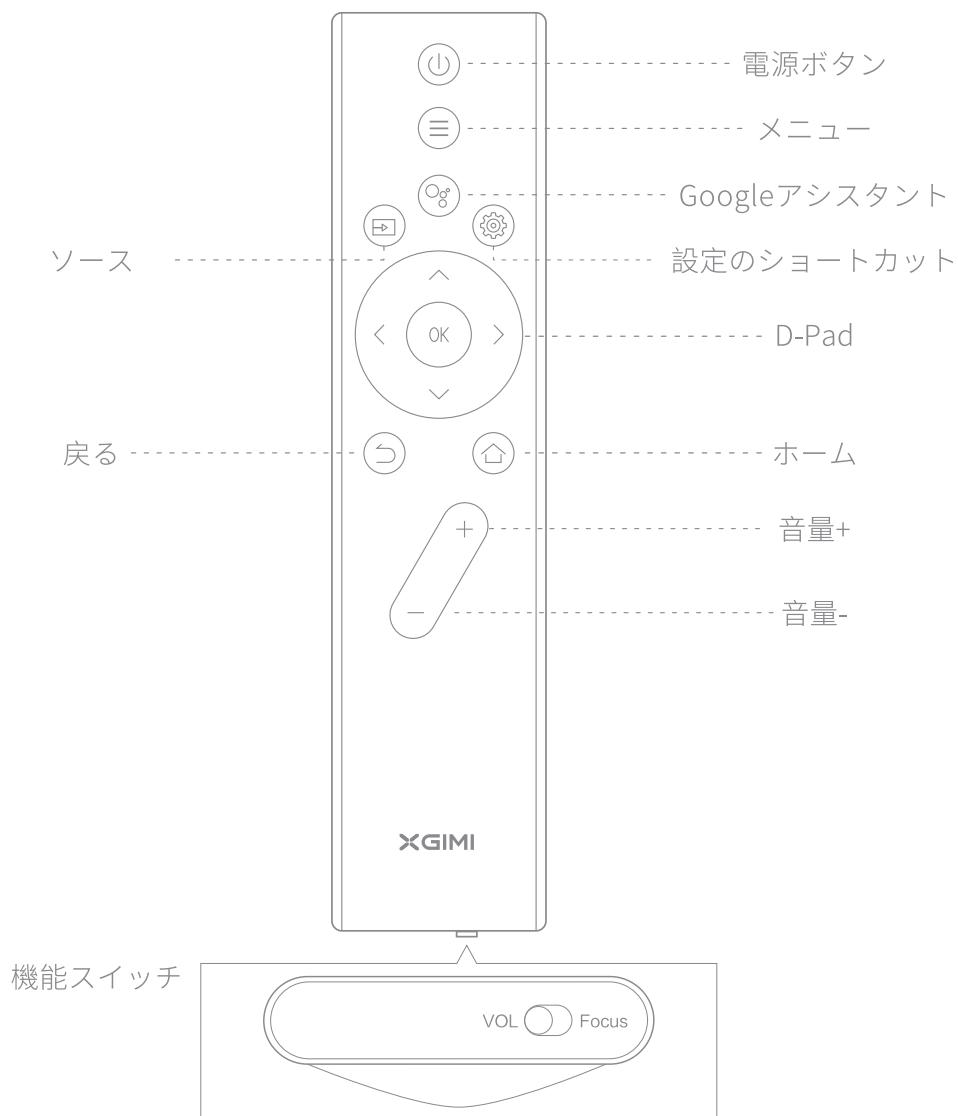
2.ボタンおよび入力の図



3.底面図



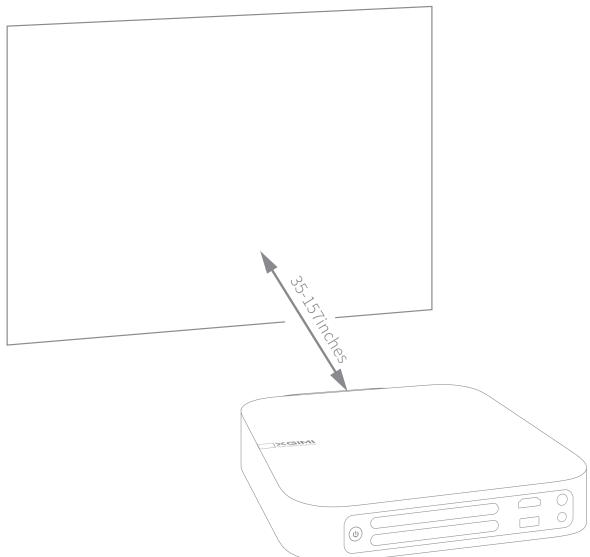
4. リモコン図



* 音量を調節する際は、機能スイッチを左側（VOL）にスライドして加減キーを使用します

* フォーカスを調節する際は、機能スイッチを右側（Focus）にスライドして加減キーを使用します

5. 視聴する距離を選択



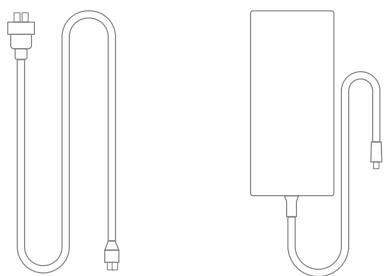
- プロジェクターを安定した平らな面に置き、レンズの方向を投影面に合わせます
- 最適な投影効果を得るために、投影面が白くて平らであることを確認してください。投影率は1.2:1です
- プロジェクターと投影面の適切な距離は、0.79mから2.66mです。このプロジェクターは30インチから100インチの画像をキャストできます

注: プロジェクターと投影面を直角に合わせる必要はありません。内蔵自動台形補正機能と手動台形補正機能により、投影画像を補正することができます

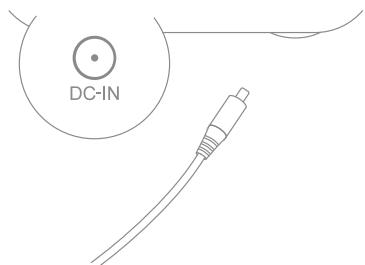
投影画像の大きさは、プロジェクターと投影面の距離によって決まります。最適な視聴効果を得るために、1.6メートルから2.66メートルまでの距離（60インチから100インチまでの画像をキャストすること）を推奨します

はじめに

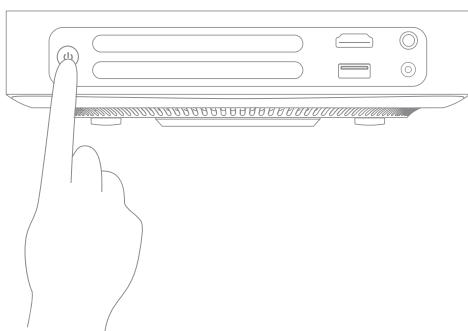
1 デバイスのオン/オフ



① アダプターを電源コードに接続します

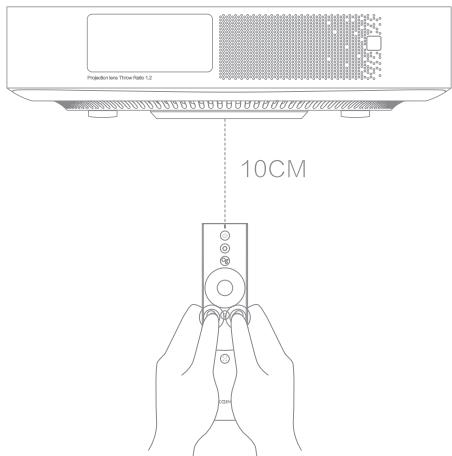


② 電源アダプターをプロジェクターに接続した後、電源コードをコンセントに接続します



③ 電源ボタン
電源に接続して [□] ボタンを押し、
デバイスをオンにします
デバイスがオンの場合、[□] ボタン
を押してデバイスをオフにします

2 リモコンのペアリング



- リモコンをデバイスから10cm以内に近づけて[左]と[右]を同時に押してください。リモコンがペアリングモードになると、表示灯が点滅し始めます。点滅が開始したらボタンを離してかまいません。発信音が鳴ったら接続完了です
- ペアリングが失敗したら、30秒後に上記の手順を繰り返してください

3 リモコンの機能の説明

・フォーカスの調整

リモコンの下部にある機能スイッチを右(フォーカス)にスライドすると、オートフォーカス機能が有効になります。「音量+/-」ボタンを使用してフォーカスを調整できます。機能スイッチを左(音量)にスライドすると、フォーカスの調整が無効になります。「音量+/-」ボタンを使用してデバイスの音量を調整できます

・ショートカットキー

ショートカットキー機能にアクセスするには、設定ボタン「⚙」を短押しします

4 オートフォーカス調整/リモートフォーカス調整

- オートフォーカス調整機能が有効な場合は、デバイスの電源をオンにするかデバイスを別の場所に移動すると、フレームが自動的に調整されます
- オートフォーカスを有効にするには、リモコンの下部にあるスイッチを使用します。スイッチを右(フォーカス)にスライドして、「音量+/-」ボタンでフレームを調整できるようにします

5 Android TVの設定

リモコンのペアリングが完了したら、画面の指示に従ってAndroid TVの設定を行ってください

- ・ クイック設定

Androidスマートフォンをご使用の場合は、画面の指示に従って、簡単にAndroid TVの設定を行うことができます

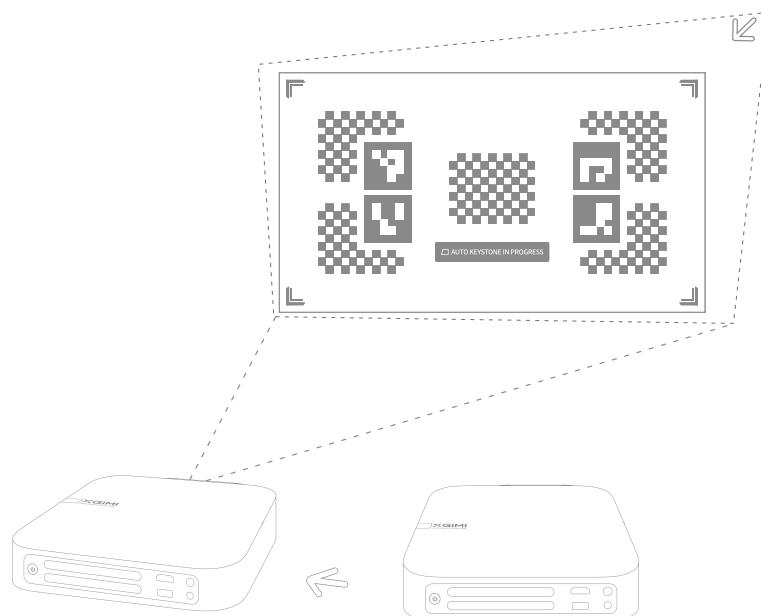
- ・ デバイスの設定

iOSをお使いの方は、以下の手順で設定を行ってください

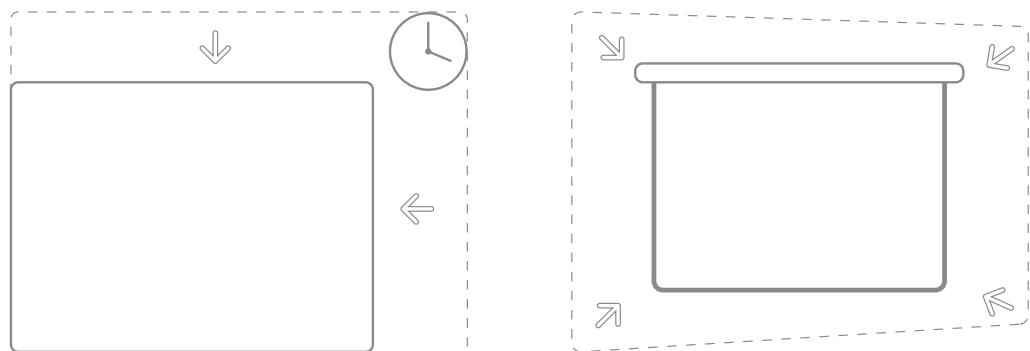
1. クイック設定をスキップします
2. デバイスをネットワークに接続します
3. Googleアカウントでログインします

6 自動台形補正

- ・ デバイスの場所を移動すると、画像は自動的に調整されます。必要に応じて、自動補正後に画像を微調整することができます



- 自動障害物回避機能を有効にすると、投影エリアに障害物がある場合、画像は自動的にそれらの障害物を回避します
- 自動画面調整機能を有効にすると、投影エリアに16:9または16:10の画面がある場合、画像は自動的にその画面に合うように調整されます

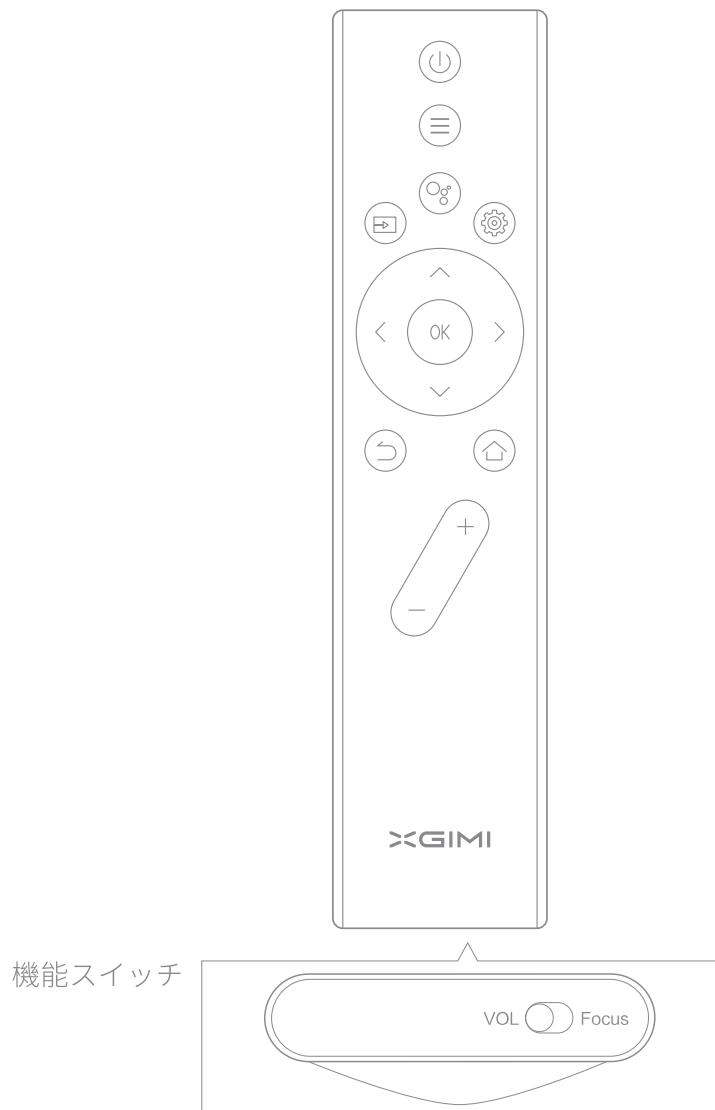


- リモコンの [◎] を押して [台形補正] ページに入ります。[自動台形補正] を選択すると、自動台形補正機能が有効になります。[手動台形補正] を選択すると、4つの頂点を調整できます。[画面ズーム] を選択すると、画像のサイズを調整できます

7 オートフォーカス調整 /リモコンを使用したフォーカス調整

- オートフォーカス調整機能が有効な場合は、デバイスの電源をオンにしたときやデバイスを別の場所に移動したときに、画像が自動的に調整されます
- 画像が鮮明でない場合に、手動でフォーカスを調整するには、リモコン下部の機能キーを [フォーカス] に動かします。リモコン下部の機能キーを [フォーカス] に動かした後に、[VOL+/-] ボタンを押して、手動でフォーカスを調整することもできます

注: [プロジェクター設定] → [焦点設定] に移動して、焦点調節機能を設定できます

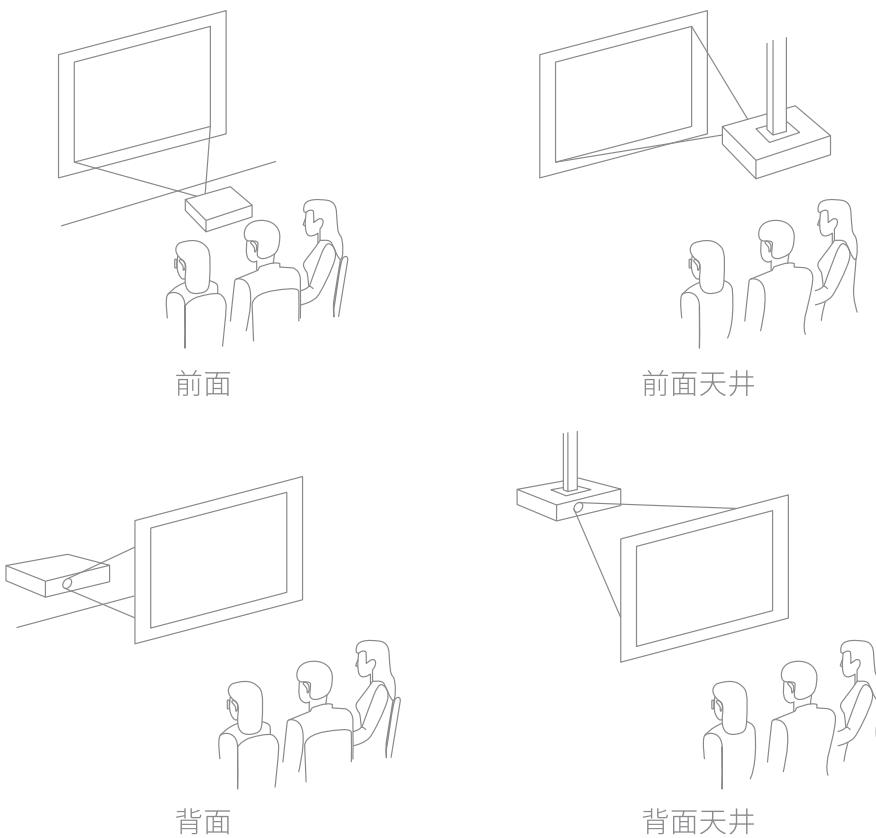


8 プロジェクターの位置

プロジェクターは、使用環境に応じて、デスクトップブラケット、シーリングブラケット、フロアブラケットなどの投影ブラケットを使って設置することができます。また、インターフェイス上で異なる投影配置方法を選択することもできます

- ・ホーム画面で [⚙️] を選択して[プロジェクター設定]を開き、[プロジェクターの位置]を開いて適切な投影配置方法を選択します
- ・[設定のショートカット] ボタンを押し、[すべての設定] →[プロジェクター設定]を選択し、[投影の位置]を開いて適切な投影配置方法を選択します

初期設定では、[自動上下反転] 機能が有効になっています。この機能は、プロジェクターの実際の配置に基づいて画像を反転させることができます。この機能が不要な場合は、オフにすることができます



デバイスを使用する

1.ネットワークとインターネット

このプロジェクトは、Wi-Fi経由でインターネットに接続できます

- ホーム画面で、[⚙️] → [ネットワークとインターネット] を開き、Wi-Fiがオンになっていることを確認してから、接続するWi-Fiを選択します
- [設定のショートカット] ボタンを押し、[すべての設定] →[ネットワークとインターネット] を選択し、Wi-Fiがオンになっていることを確認してから、接続するWi-Fiを選択します

モバイルデータを使用する場合は、[データセーバー] をオンにしてください。この機能は、ビデオの解像度を自動的に調整して、モバイルデータの使用量を削減します。[データ使用量と警告] 機能は、データ使用量をリアルタイムに監視し、データ使用量がしきい値を超えるとユーザーに警告を送信します

2.Android TVの機能

プロジェクトをワイヤレスネットワークに接続すると、Android TVのオンラインサービスにアクセスして、映画や音楽、写真などを楽しむことができます。プリインストールされているアプリに加えて、Google Playから他のアプリをインストールしたり、Google Assistantに日常生活をサポートしてもらうこともできます

- Googleアシスタント

Googleに話しかけて、テレビを音声で制御します

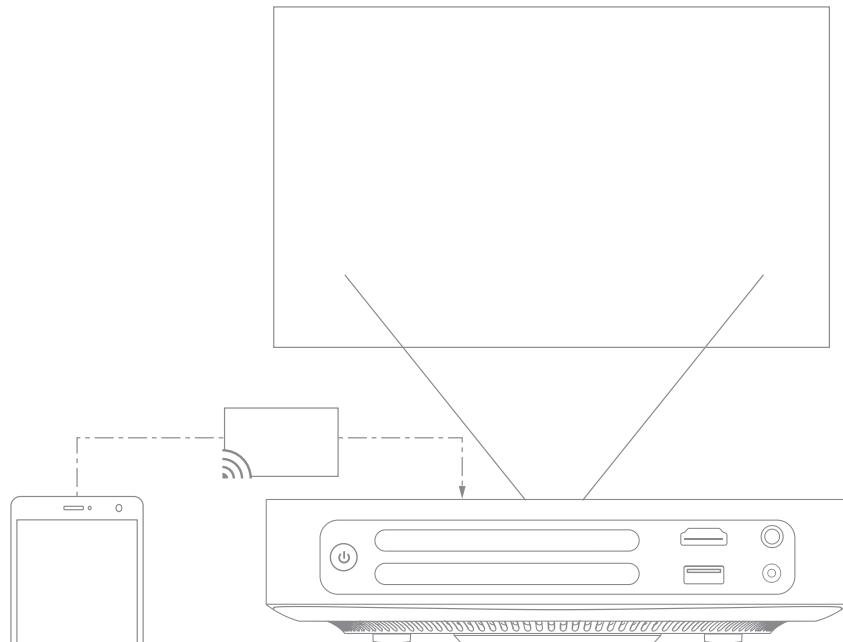
リモコンの [Googleアシスタント] ボタンを押すと、映画や番組を検索したり、気分に合うおすすめのコンテンツを表示したり、質問的回答を得たり、スマートホームデバイスを制御したりすることができます

- Chromecast Built-in™

Chromecast Built-inを使用して、テレビにお気に入りの映画や音楽などを簡単にキャストできます

使い慣れているアプリから [キャスト] ボタンをタップするだけで、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンからエンターテインメントをテレビにストリーミングできます。ストリーミング中でも、スマートフォンを使ってソーシャルメディアをスクロールしたり、テキストメッセージを送ったり、電話を受けたりすることができます

注: プロジェクターと、スマートフォンやPCが同じネットワークに接続されていることを確認してください



3.XGIMIアプリ

- ファイルマネージャー

[ファイルマネージャー] アプリを使って、デバイスのストレージや外部ストレージにあるファイルを表示します

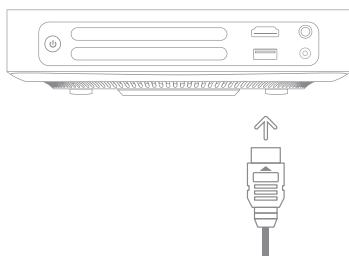
- ① ホーム画面 [grid icon] をクリックしてアプリ一覧を表示し、[ファイルマネージャー] を選択して、デバイスのストレージまたは外部ストレージを選択します
- ② [設定のショートカット]ボタンを長押しして、ファイルを管理します。[メニュー]ボタンを押すと、より多くの操作が表示されます

注: Android TVのセキュリティ要件により、外部ストレージデバイスからのファイルの読み取りのみ可能で、これらのファイルをコピー&ペーストすることはできません

- Google Playストア

- ① Google Playストアは、ホーム画面にプリセットされています
- ② Google PlayストアはネイティブのGoogleストアで、ユーザーが選べる多数のアプリを提供しています
- ③ Google Playストアでは、アプリを検索したりクリックしたりして、目的のアプリをダウンロードしてインストールすることや、インストール済みのアプリを更新することができます

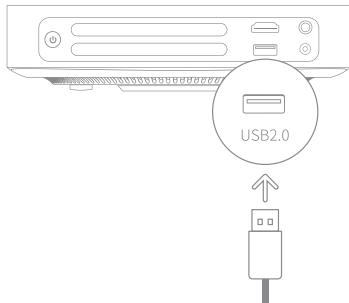
4.HDMI



- HDMIケーブルをプロジェクターに接続すると、プロジェクターは自動的に信号源を切り替えます。ホーム画面の [→] を選択して信号源を選んでアクセスすることもできます。または、リモコンの [ソース] ボタンを押すこともできます

- 信号源がHDMIに切り替わったら、[⚙️]を押して[HDMIバージョン]を開き、HDMIバージョンを選択することができます。また、[縦横比]を開いて、ソースの縦横比を変更することもできます
- 初期設定では、[HDMI制御] 機能が有効になっています。この機能により、XGIMIのリモコンを使って外部のHDMIデバイスを操作することができます。この機能を無効にするには、[プロジェクター設定] → [その他] → [HDMI制御] を選択してオフにしてください。オフにした後は、ARC出力ができなくなります

5.USB



- USBポート経由でリムーバブルストレージデバイスをプロジェクターに接続すると、画面上にウィンドウがポップアップします。直接確認してファイルにアクセスすることができます

- また、ホーム画面で [grid] を選択してアプリ一覧を表示し、[ファイルマネージャー] を開いてファイルにアクセスしたり、Google Playストアのソフトウェアをダウンロードしたりできます

注: [grid] をクリックすると、おすすめアプリがページ下部にポップアップ表示されます。よく使うアプリがない場合は、おすすめページのアプリをクリックしてダウンロードページに移動して、必要なアプリをダウンロードしてインストールします

6.Bluetooth

- Bluetoothスピーカーを接続する

- ① [焦点調整]→[リモートとアクセサリ]→[新しいデバイスの追加]の順に開きます
- ② Bluetoothスピーカーを検索し、ペアリングします
Bluetoothスピーカーの接続中にプロジェクターのスピーカーに戻すには、[⚙️]を押してから[音響出力]→[内蔵スピーカー]を選択します

- Bluetoothで音楽を再生する

- ① モバイルのBluetooth設定を使用してデバイスを検索してペアリングします。
接続に成功すると、スマートフォンの音楽をプロジェクターで再生できるようになります
- ② 音楽の再生中に投影画面をオフにする場合は、リモコンの [電源] ボタンを短押しして、[画面オフ] を選択します



設定

1. ショートカット設定

「設定ショートカット」のボタン [⚙] でも、以下の機能にアクセスできます

- アプリを消去

バックグラウンドで実行中のアプリのキャッシュをクリアして、デバイスの動作を高速化します

- 画像モード

HDMI経由でコンテンツを視聴しているときやビデオを見ているときに、映画、サッカー、オフィス、ゲームなどのシーンごとに異なる画像モードを選択して、最適な視聴体験を楽しむことができます。画像パラメータをカスタマイズするには、カスタムモードを選択します

注: ゲームモードはHDMIディスプレイでのみ有効で、MEMC（動きベクトル探索、動き補償）効果のない低レイテンシーモードです。さらに画像の遅延を減らすために、[低レイテンシー] モードを選択すると、台形補正効果が無効になります

- 音響効果

XGIMI製品では、プロフェッショナルな音響効果を提供します。DTS Studio SoundとHarman Kardon。映画、音楽、スポーツといったさまざまなシナリオに応じて異なる音響効果を選択し、最適なサウンド体験を得られるようにします

- 3D動画設定

HDMIで3D動画を視聴しているときや、オンラインで3D動画を視聴しているときに、3Dモードをオン/オフすることができます

2. プロジェクター設定

ホーム画面で、[⚙️]を選択して[プロジェクター設定]を開きます。[⚙️]を押して、[すべての設定] → [プロジェクター設定]を選択することもできます

- 輝度

輝度のモードを、標準、ライト、視力保護などから選択し、輝度レベルを調整します

映像の輝度や色をカスタマイズしたい場合は、カスタムモードを選択します

「環境適応」機能が有効になると、デバイスは周囲の明るさに基づいて自動的に輝度を調整することができます

- キャリブレーション

[その他]を開くと、画面の手順どおりに一部の機能の調整を行うことができます

- 焦点調整

長期間使用したことにより、自動焦点調整機能が以前と比べて劣化した場合は、

「フォーカスキャリブレーション」で自動焦点調整機能を調整します

注: この機能の調整時には、デバイスが前面投影の状態で、壁面やスクリーンから1~2メートル離れているようにしてください

- 台形調整

自動台形補正機能の効果に満足できない場合は、「台形調整」自動台形補正機能を再キャリブレーションします

注: この機能の調整時には、デバイスが前面投影の状態で、壁面やスクリーンから1.5~2メートル離れているようにしてください

- ジャイロ調整

長期間使用したことにより、自動台形補正機能が以前と比べて劣化している場合は、「ジャイロ調整」でジャイロを再キャリブレーションすると、自動台形補正の効果を最適化することができます

注: キャリブレーション中は、デバイスが水平な状態で置かれているようにしてください

3. デバイスの環境設定

[デバイスの環境設定] では、より多くの設定が可能です。よく使う設定は以下の通りです：

- バージョン情報

デバイス情報やファームウェアバージョンの確認、ファームウェアアップデートの確認、プロジェクトのリセットなどを行います

- 日付と時刻

日付と時刻を設定します

- 言語

画面上の言語を選択します

- ストレージ

端末のストレージとリムーバブルストレージを確認します

- ホームスクリーン

ホームページをカスタマイズします

- Google Assistant

Google Assistantを設定します

- スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定と開始時間を設定します

- アクセシビリティ

プロジェクトの操作が苦手な方のために、「アクセシビリティ」機能をご用意していますので、安心して製品をお使いいただけます

- 再起動

デバイスを完全に再起動します

トラブルシューティング

1.台形補正後、外枠に不規則な影が残るのはなぜですか？

TI のDLP投影では、画面全体を埋めることができません。真の解像度は、実際の表示領域のみを満たし、周囲の領域は使用されません。台形補正が完了すると、XGIMI プロジェクターはデジタル補正を行うため、一部の表示領域が影（未使用領域）になります。デバイスの使用においては、何も問題ありません

2.アダプターをプロジェクターに挿入した後、アダプターが温かくなるのは正常なことですか？

当社のアダプターは、セキュリティ規定に基づいてテストされ、認証されています。通常、電力の伝達によって熱が発生したり、小さな摩擦音が発生することがありますが、気にする必要はありません

3.映像が映らない、音と映像がずれている場合はどうすればいいですか？

ワイヤレスプロジェクターの場合、アプリの性能やインターネットの速度によってこの問題が発生することがあります

プロジェクターがHDMIやBluetoothスピーカーに接続されている場合は、接続デバイスのブランドや互換性の問題でこの問題が発生することがあります

4.フォーカス機能が正常に動作しない場合はどうすればいいですか？

問題を解決するために、次の条件を確認してください

- a. フォーカス設定でオートフォーカス機能がオンになっている
- b. 投影レンズやセンサーモジュールの前に物がない

それでも問題が解決しない場合は、[焦点調整] を開き、フォーカスキャリブレーションを行ってください

ご不明な点がある場合は、service@xgimi.comまでお問い合わせください

重要な注意事項

デバイスの正しい使用:

- ・レンズを目に向けないでください。プロジェクターの強い光により目が損傷する恐れがあります
- ・デバイスの通常の放熱ができないと、内部電子機器が損傷する恐れがあるため、デバイスの空気出入口をふさがないでください
- ・レンズの損傷を防ぐため、紙や布が含まれる清掃用具でレンズを直接拭かないでください。レンズ表面のゴミは、きれいなエアーブローで吹き飛ばしてください
- ・回路基板が雨水、湿気、鉱物を含む液体によって腐食するのを防ぐため、化学薬品、洗剤、またはいかなる液体でもデバイスを洗浄しないでください
- ・デバイスおよびその構成部品や付属品は、お子様の手に届かないところに置いてください
- ・デバイスは必ず乾燥した換気の良い環境で使用されるようにしてください
- ・極端な温度下では電子機器の寿命が短くなりますので、極度の高温または低温になる場所でデバイスを保管しないでください。デバイスは0°Cから40°Cまでの環境下に置いて、使用してください
- ・デバイスを加熱機器(乾燥機や電子レンジなど)に入れて乾燥させないでください
- ・デバイスの損傷を防ぐため、デバイスを強く押し出したり、デバイス上やデバイスの背面に障害物を置いたりしないでください
- ・内部回路基板の破損を防ぐため、デバイスを投げつけたり、叩いたり、激しく振動させたりしないでください
- ・お客様ご自身によるデバイスの分解や組み立てを行わないでください。問題が発生した場合は、XGIMIのアフターサービスに連絡してください
- ・お客様ご自身による修理を行わないでください。デバイスまたは構成部品が正常に動作しない場合は、XGIMIのアフターサービスへ適時に連絡するか、修理のために工場に返送してください
- ・イヤホンは注意して使用してください。イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧によって、聴覚を損失する可能性があります
- ・明るい光源の場合と同様に、光線を直接見つめないでください。

RG2 IEC 62471-5:2015



RG2

FCC警告

本デバイスはFCC規則のPart 15の規定に適合しています。動作においては、次の2つの条件を遵守しています。(1) 本デバイスは、有害な干渉を引き起こさないこと、および(2) 本デバイスは、偶発的な操作をもたらす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならないこと。ユーザーマニュアルまたは操作説明書は、責任を有する法令遵守当事者からの明示的な承認なく意図的または非意図的にラジエーターを変更および交換すると、ユーザーによる本デバイスの操作ができなくなる可能性についてユーザーが想起できるような記載を含んでいるものとします。マニュアルが紙以外の形態で提供される場合、たとえばインターネットからコンピュータのディスクを介して提供される場合、本項で要求される情報は、ユーザーが当該形態の情報にアクセスできることを前提として、代替形態でマニュアルに含めることができます

クラスBのデジタルデバイスまたは周辺機器の場合、ユーザーによって提供される指示には以下の記述または類似の記述を含めるものとし、それらをマニュアル内の目立つ場所に記載するものとします

注: 本デバイスは、FCC規則のPart 15に準拠したクラスBのデジタルデバイスに対する制限に適合していることについてテスト済みです。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉を効果的に防止することを目的としています。指示に従って設置および使用しない場合、本デバイスは高周波エネルギーを発生および放射し、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。本デバイスによってラジオまたはテレビ電波の受信に有害な干渉が発生した場合(本デバイスの起動および停止によって判別可能)、ユーザーは以下の1つまたは複数の方法で干渉を修正することが推奨されます

- 受信アンテナの向きを変える
- 本デバイスと受信機との間の距離を広げる
- 受信機が接続される回線とは別の回線の差し込み口にデバイスを接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの経験のある技術者にサポートを依頼する
- 本デバイスがスレーブとして、2.4 GHz (2402~2480 MHz、2412~2462 MHz) 帯または 5 GHz (5.180 GHz~5.240 GHz、5.260 GHz~5.320 GHz、5.500 GHz ~5.700 GHz、5.745 GHz~5.825 GHz) 帯で動作している



FCC ID: 2AFENXL03A

CEメンテナンス

1. 不適切なタイプのバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。使用済みのバッテリーは指示に従って廃棄してください
2. 本製品は、バージョンUSB2.0のUSBインターフェイスにのみ接続するものとします
3. アダプターはデバイスの近くに設置し、簡単に取り扱えるようにします
4. EUT動作温度範囲: -10°C~40°C
5. アダプター:
プラグは、アダプターの切断デバイスと見なされます
電源およびADP(定格):
入力: AC 100 V-240 V, 50/60 Hz 1.5 A
出力: DC 19.0 V, 3.42A
6. 本デバイスは、人体から20cm離れた場所で使用した場合に、RF仕様に適合するものとなります
7. 聴覚を損なう恐れがあるため、大きい音量で長時間聞かないでください

適合宣言

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd.は、本製品が指令2014/53/EUの必須要件および他の関連規定に適合していることをここに宣言します

本製品は、一部のEU加盟国での使用が許可されています。たとえば、本製品は次の加盟国で使用できます

5.15~5.25GHz帯での操作は、屋内使用に限定されます

この周波数は、運用に関する制限または使用的承認に関する要件が存在する

以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます

CE 			
BE	EL	LT	PT
BG	ES	LU	RO
CZ	FR	HU	SI
DK	HR	MT	SK
DE	IT	NL	FI
EE	CY	AT	SE
IE	LV	PL	UK

放射線被ばくに関する声明

リモコンについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています

送信機は、その他のアンテナまたは送信機と組み合わせて設置したり操作しないものとします

LEDプロジェクターについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています。本デバイスの設置および操作においては、ラジエーターと本体の間の距離が20 cm以上である必要があります

注: 5150～5250 MHzの周波数範囲は、屋内使用に限定されます

この周波数は、運用に関する制限または使用の承認に関する要件が存在する以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます

!		
BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

使用済み製品の廃棄手順:



本製品は、リサイクル可能な高品質の材料および構成部品を使用して設計および製造されています



製品上のこの記号は、指令2012/19/EUに基づいて製品が保護されていることを示します

* メーカー指定またはメーカー提供の付属品/周辺機器(専用の電源アダプターなど)のみを使用してください

* 本製品は有害な光を放射する可能性がありますのでご注意ください

Please read the Product Instructions carefully before using the product

Thank you for purchasing and using the products of Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. (hereinafter referred to as "XGIMI Technology" or "XGIMI"). You should read the Product Instructions carefully before using this product for both your safety and interests.

XGIMI Technology disclaims all responsibilities for any personal injury, damage to property, or other loss that may occur as a result of improper or unsafe use of this product.

About the Product Instructions (hereinafter referred to as the "Instructions")

The copyright of the Instructions belongs to XGIMI Technology. Trademarks and names mentioned in the Instructions belong to their respective right owners.

In case of nonconformity between the content of the Instructions and the actual product, the actual product shall prevail.

Any objections to any content or clause found within the Instructions should be reported to XGIMI Technology in written form within 7 days after the purchase; otherwise, it will be assumed that you agree to, understand, and accept all the content of the Instructions.

Google, Android TV and Chromecast built-in are trademarks of Google LLC.

Google Assistant is not available in certain languages and countries. Availability of services varies by country and language.



High-Definition Multimedia Interface (HDMI) and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, DTS Studio Sound, and the DTS-HD logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

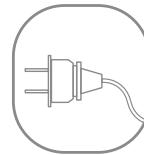
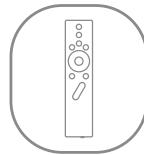
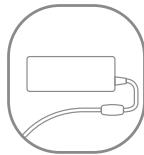
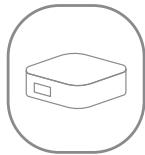


Dolby, Dolby Audio, Pro Logic, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

* Model: XL03A

* XGIMI Technology reserves the right to interpret and amend the Instructions.

What's included



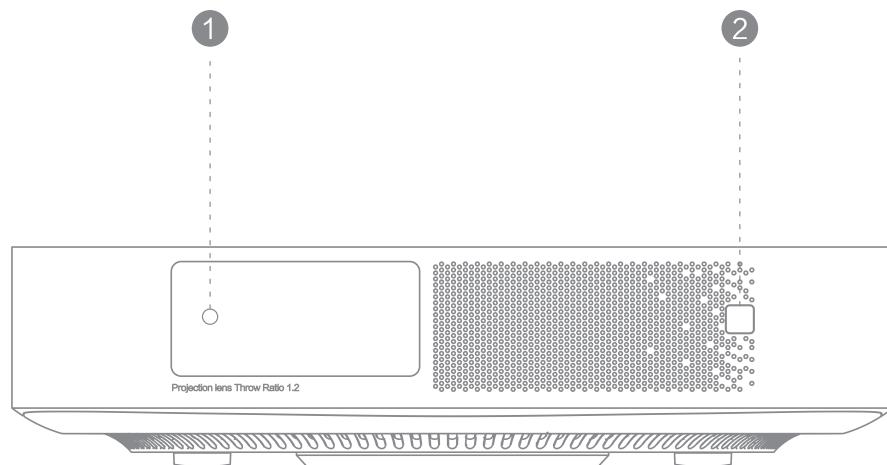
XGIMI projector, adapter, power cord, remote control, user guide, and warranty card

Overview

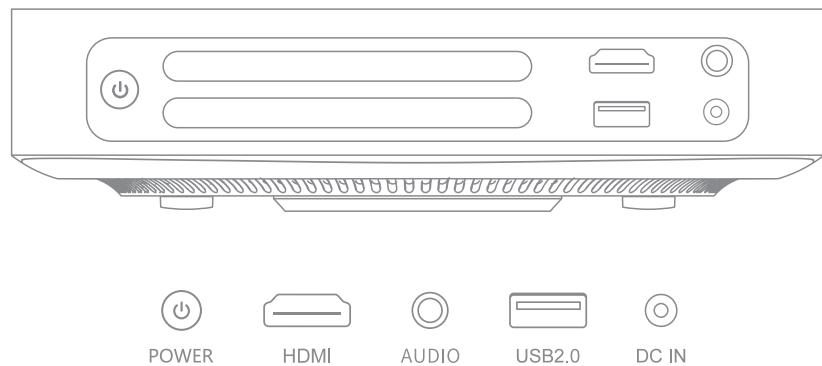
1. Front View

- ① autofocus ToF Part
- ② Auto Keystone

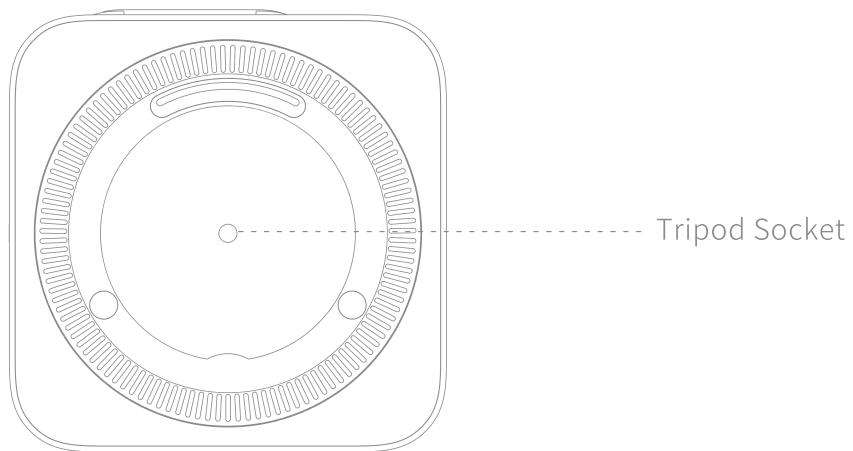
Note: Do not block the sensor to prevent keystone correction failures.



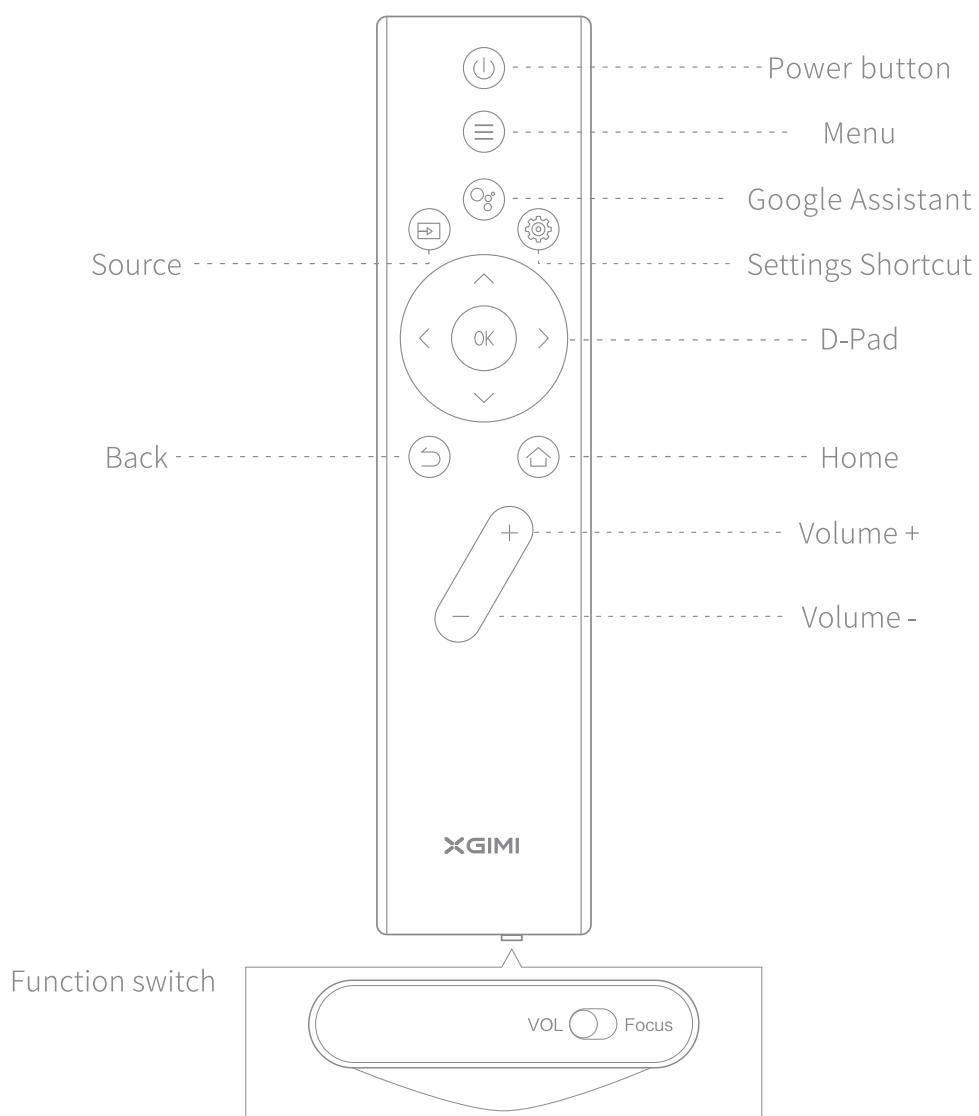
2.Button&input View



3.Bottom View

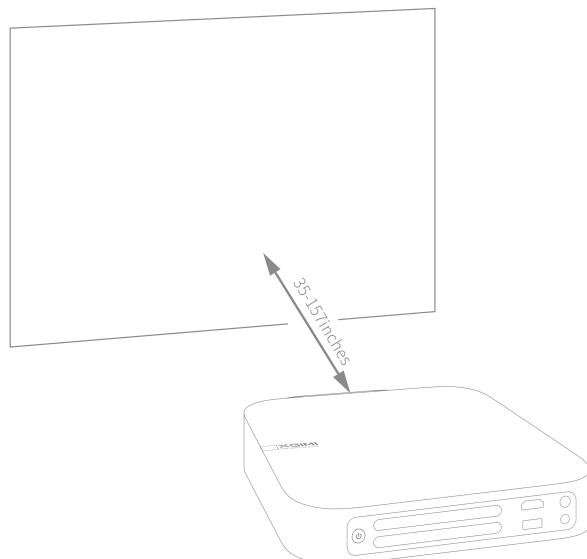


4. Remote View



* Volume is adjusted through add-subtract key when function switch is moved to the left (VOL);
* Focus is adjusted through add-subtract key when function switch is moved to the right (Focus).

5. Choose the viewing distance



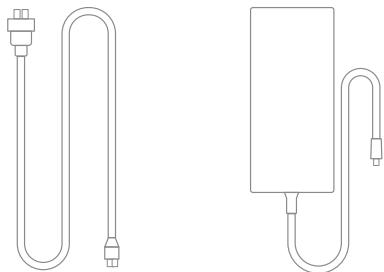
- Place the projector on a stable flat plane and align the lens direction with the projection plane.
- To ensure an optimal projection effect, make sure that the projection plane is white and flat. The throw ratio is 1.2:1.
- and the proper distance between the projector and the projection plane is 0.79 meters to 2.66 meters. This projector can cast a 30-inch to 100-inch picture.

Note: You do not need to align the projector with the projection plane at a right angle. The built-in auto keystone correction function and the manual keystone correction function can correct the projection picture.

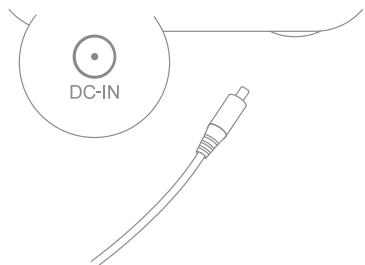
The size of the projection picture is determined by the distance between the projector and the projection plane. To obtain the optimal viewing effect, we recommend a distance between 1.6 meters and 2.66 meters (casting a 60-inch to 100-inch picture).

Getting Started

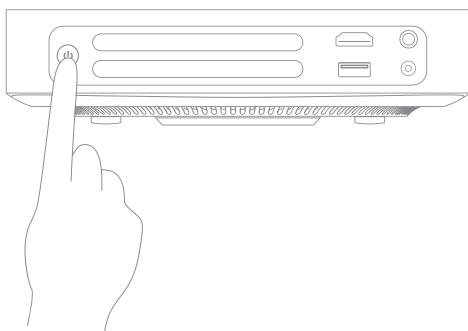
1 Device on/off



① Connect the adapter to the power cord.



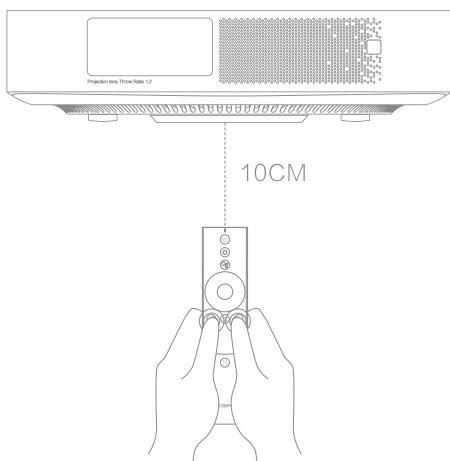
② After the power adapter is connected to the projector, connect the power cord to the power socket.



③ Power button

Connect to the power source, and press the "P" button to turn on the device. When the device is on, press the "P" button to turn off the device.

2 Remote Control Pairing



- Place the remote control within 10cm of the device, press " ↵ " and " ⌂ " simultaneously, an indicator light will begin flashing as the remote control enters pairing mode. Buttons can be released as soon as flashing begins, and the connection is successful when a "Ding" is heard.
- If pairing fails, after 30s repeat the above steps.

3 Function Description of Remote Control

• Focus adjustment

When the function switch at the bottom of the remote control is moved to the right (Focus), the automatic focus function is enabled. You can adjust the focus by using the "VOL+/-" button. When the function switch is moved to the left (VOL), focus adjustment is disabled. You can use the "VOL+/-" button to control the device volume.

• Shortcut key

To access the shortcut key function, briefly press the Settings button " ⚙ ".

4 Automatic Focus Adjustment/Remote Focus Adjustment

- When the automatic focus adjustment function is enabled, the frame will be adjusted automatically when you turn on the device or move it to another location.
- You can enable automatic focus by using the switch at the bottom of the remote control. Move the switch to the right (Focus) so that the "VOL+/-" button can be used to adjust the frame.

5 Android TV settings

After the remote control is paired, follow the instructions on the screen to complete the Android TV setup.

- Quick setup

Android phone users can follow the instructions to quickly set up Android TV with your phones.

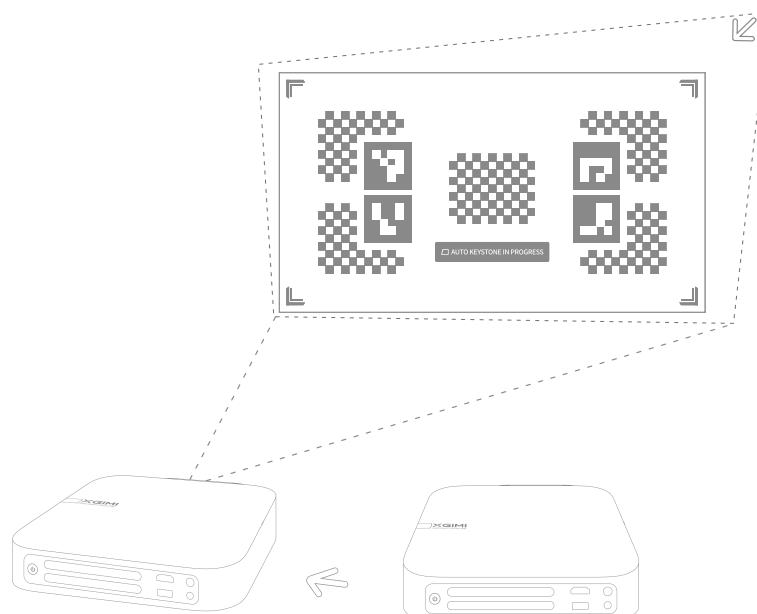
- Setting up the device

For iOS users, follow the instructions below to complete the setup:

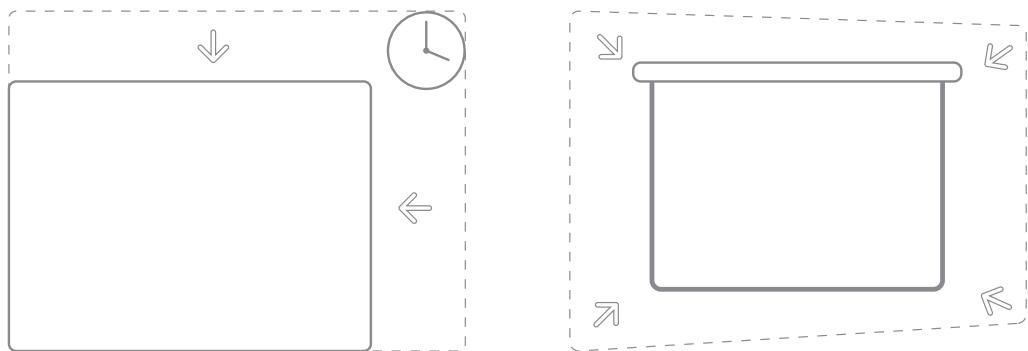
- 1.Skip the quick setup process.
- 2.Connect the device to the network.
- 3.Log in with your Google account.

6 Auto keystone correction

- The picture will be adjusted automatically when you move the device to another location. If necessary, you can fine-tune the picture after automatic correction.



- When the automatic obstacle avoidance function is enabled, the picture will automatically avoid obstacles if there are obstacles in the projection area. When the auto screen alignment function is enabled, the picture automatically fits in the screen if the projection area has a 16:9 or 16:10 screen.

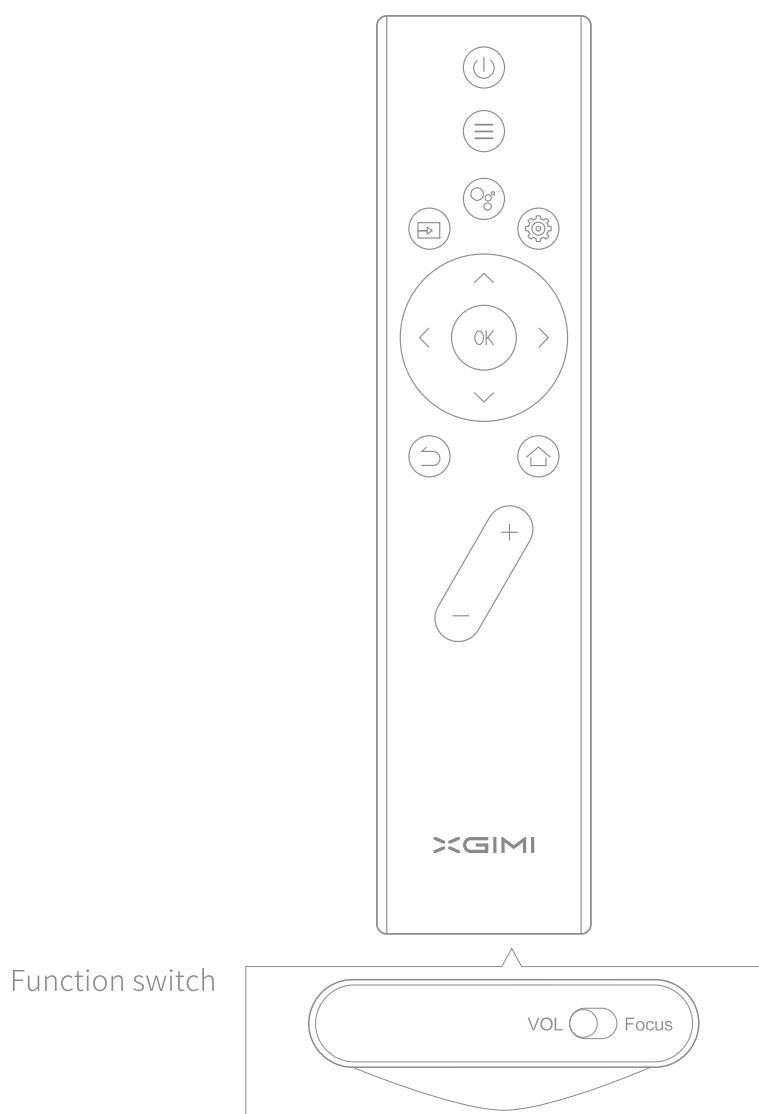


- Press "⚙" on the remote control to enter the "Keystone Correction" page. Select "Auto Keystone Correction" to enable the auto keystone correction function. Select "Manual Keystone Correction" to adjust the four points. Select "Screen Zoom" to adjust the size of the picture.

7 Automatic focus adjustment/focus adjustment through remote control

- When the automatic focus adjustment function is enabled, the picture will be adjusted automatically when you turn on the device or move it to another location.
- If the picture is not clear enough, you can move the function key on the bottom of the remote control to "Focus" to adjust the focus manually. Also, you manually adjust the focus by pressing the "VOL+/-" button after moving the function key on the bottom of the remote control to "Focus".

Note: You can go to "Projector Settings" -> "Focus Settings" to configure the focusing function.

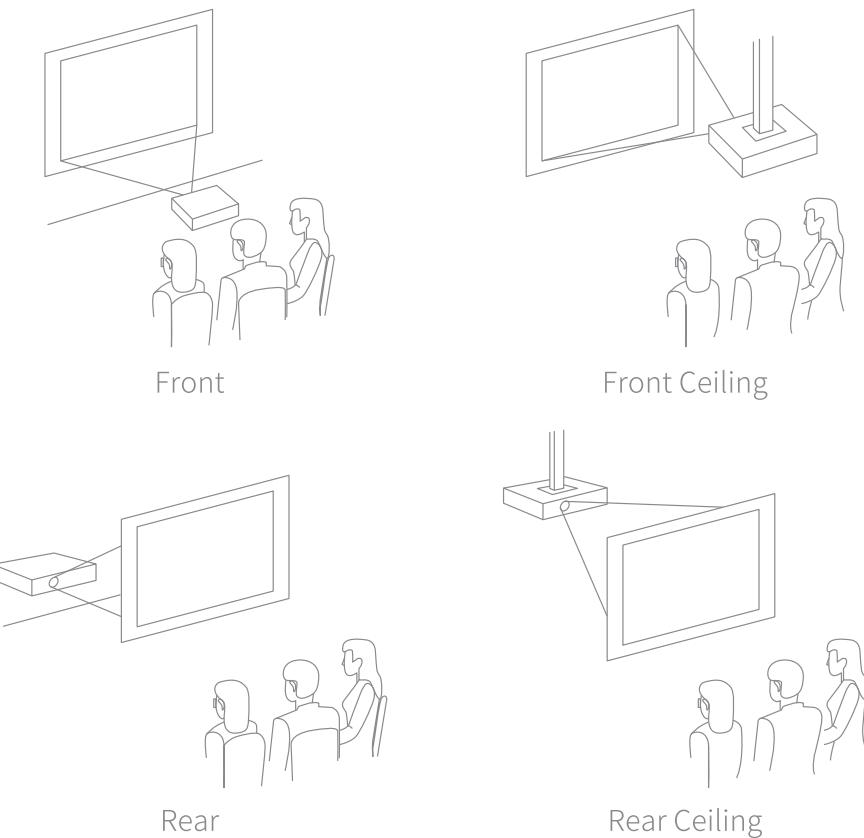


8 Projector placement

You can install the projector through a projection bracket, such as a desktop bracket, ceiling bracket, or floor bracket based on different usage environments. You can also select different projection placement methods on the interface:

- On the home page, select "⚙️" to open "Projector Settings", and then open "Projector Placement" to select an appropriate projection placement method
- Press the "Settings Shortcut" button, select "All Settings" -> "Projector Settings", and then open "Projection Placement" to select an appropriate projection placement method.

The "Auto Vertical Flip" function is enabled by default. This function can flip the picture based on the actual placement of the projector. If you do not need this function, you can turn it off.



Using the device

1.Network & Internet

This projector can connect to the Internet through Wi-Fi.

- On the home page, select "⚙️" to go to "Network & Internet", make sure that Wi-Fi is turned on, and then select a Wi-Fi to connect.
- Press the "Settings Shortcut" button, select "All Settings" -> "Network & Internet", make sure that Wi-Fi is turned on, and then select a Wi-Fi to connect.

When you use mobile data, turn on "Data Saver". This function automatically adjusts the video resolution to reduce your mobile data usage. The "Data Usage and Alerts" function monitors data usage in real time and sends you an alert when your data usage exceeds the threshold.

2.Android TV feature

After the projector is connected to a wireless network, you can access the online services of Android TV to enjoy movies, music, and pictures. In addition to the pre-installed apps, you can also install other apps from Google Play and ask your Google Assistant to help you with your daily routines.

- Google Assistant

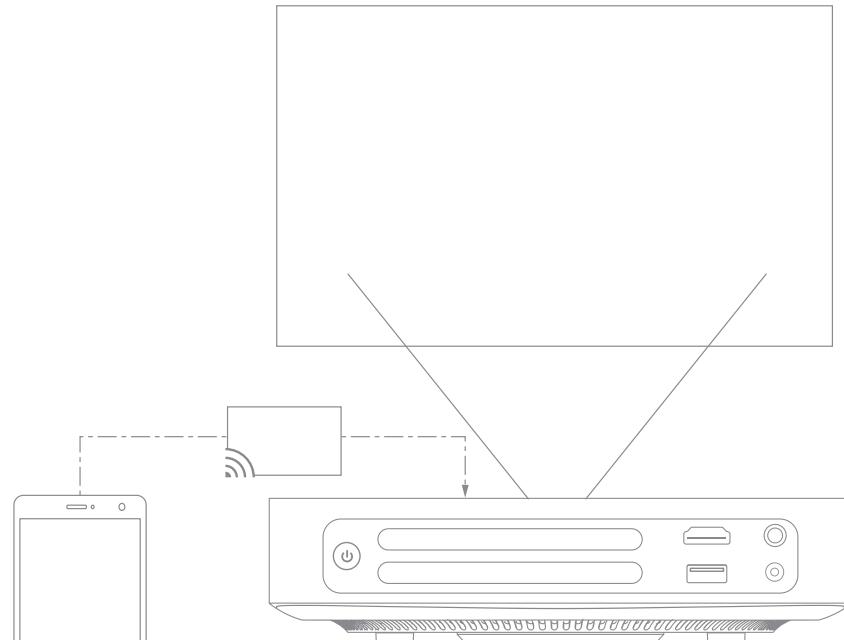
Talk to Google to control your TV using your voice. Press the Google Assistant button on your remote to search for movies and shows, get recommendations to match your mood, get answers, control smart home devices, and more.

- Chromecast Built-in™

Easily cast your favorite movies, music, and more to your TV with Chromecast built-in.

Simply tap the Cast button from apps you already know and love to stream entertainment from your phone, tablet or laptop to the TV. While you’re streaming, you can keep using your phone for other things- scroll through social media, send a text, and even accept calls.

Note: Make sure that the projector and your phone or PC are connected to the same network.



3.XGIMI apps

- File Manager

Use the File Manager app to view the files on the device storage or external storage.

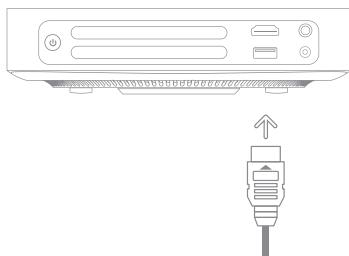
- ① On the home page, click "grid" to open the app list, select "File Manager", and then select the device storage or an external storage device.
- ② Long press the "Settings Shortcut" button to manage files. Press the "Menu" button for more actions.

Note: According to the security requirements of Android TV, you can only read files from external storage devices, but cannot copy and paste these files.

- Google Play Store

- ① Google Play Store is preset on the home page.
- ② Google Play Store is the native Google store, providing thousands of apps for your choice.
- ③ After entering Google Play Store, you can download and install your desired app by searching for or clicking an app, or you can update the app you have installed.

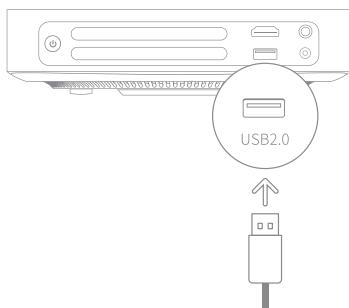
4.HDMI



- After an HDMI cable is connected to the projector, the projector will automatically switch the source. You can also select " ➔ " on the home page to choose and access the source, or press the "Source" button on the remote control.

- When the source is switched to HDMI, you can press ⚡ to open "HDMI Version" and select an HDMI version. You can also open "Aspect Ratio" to change the aspect ratio of the source.
- The "HDMI Control" function is enabled by default. This function enables you to use the XGIMI remote control to control external HDMI devices. To disable this function, select "Projector Settings" -> "Others" -> "HDMI Control" to turn it off. After it is turned off, ARC output is no longer available.

5.USB



- When a removable storage device is connected to the projector via the USB port, a window will pop up on the screen. You can directly confirm to access files.

- You can also click " 📞 " on the home page to open the app list, and then open File Manager to access files, or to download software in Google Play Store.

Note: After clicking " 📞 ", recommended apps will pop up at the bottom of the page. If there is no commonly used apps, you can click an app on the recommendation page to go to the download page, and download and install the app you want.

6. Bluetooth

- Connect a Bluetooth speaker

① Open "System Settings" -> "Remotes & Accessories" -> "Add New Device".

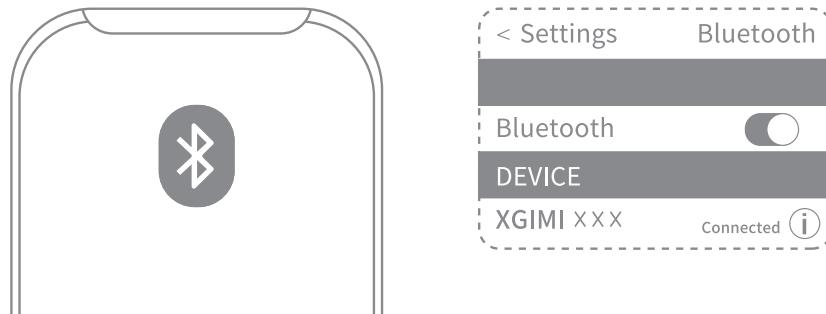
② Search for and pair with a Bluetooth speaker.

To switch back to the projector speaker while the Bluetooth speaker is connected, press "⚙️", and then select "Sound Output" -> "Internal Speaker".

- Play music via Bluetooth

① Use mobile Bluetooth settings to search for and pair with the device. After the connection is successful, the music on the mobile phone can be played on the projector.

② If you need to turn off the projection picture during music playback, short press the "Power" button on the remote control and select "Display Off".



Settings

1. Shortcut settings

The "Settings Shortcut" button  also provides the following functions:

- Clear apps

Clear cache of apps running in the background to make your device run faster.

- Image mode

While you are watching content via HDMI or watching a video, you can select different image modes in different scenarios, such as movie, football, office, and game, to enjoy the optimal viewing experience. To customize the image parameters, you can select the custom mode.

Note: The game mode takes effect only for HDMI displays, which is a low-latency mode without the motion estimation, motion compensation (MEMC) effect. To further reduce the picture latency, select the "Low Latency" mode, which will invalidate the keystone correction effect.

- Sound effect

XGIMI products offer you professional sound effects: DTS Studio Sound and Harman Kardon. Select different sound effects in different scenarios, such as movie, music, and sport, to enjoy the optimal sound experience.

- 3D video setup

While you are watching a 3D video via HDMI or watching an online 3D video, you can turn on or off the 3D mode.

2. Projector settings

On the home page, select "⚙️" to open "Projector Settings".

You can also press "⚙️" and select "All Settings" -> "Projector Settings".

- Brightness

Select a brightness mode, such as standard, bright, eye-protection, and adjust the brightness level.

To customize the brightness and color of the picture, you can select the custom mode.

If the "Environmental Adaptation" function is enabled, the device can automatically adjust the brightness based on the ambient brightness.

- Calibration

You can open "Others" to calibrate some functions as instructed on the screen.

- Focus Calibration

If the automatic focus adjustment function is not as good as before after long-term use, you can tune the automatic focus adjustment function through "Focus Calibration".

Note: When calibrating this function, make sure that the device is in the front projection state and that it is 1 to 2 meters away from the wall or screen.

- Keystone Calibration

If you are not satisfied with the effect of the automatic keystone correction function, you can recalibrate the automatic keystone correction function through "Keystone Calibration".

Note: When calibrating this function, make sure that the device is in the front projection state and that it is 1.5 to 2 meters away from the wall or screen.

- Gyro calibration

If the automatic keystone correction function is not as good as before after long-term use, you can recalibrate the gyro through "Gyro Calibration" to optimize the effect of automatic keystone correction.

Note: Make sure that the device is placed horizontally during calibration.

3.Device Preferences

More settings are available in "Device Preferences". The following settings are commonly used:

- **About**

Check the device information and firmware version, check for firmware updates, and reset your projector.

- **Date & Time**

Set the date and time.

- **Language**

Select the on-screen language.

- **Storage**

Check the device storage and removable storage.

- **Home Screen**

Personalize your home page.

- **Google Assistant**

Set up your Google Assistant.

- **Screen Saver**

Set up the screen saver and its start time.

- **Accessibility**

For users who have difficulty in working with the projector, the "Accessibility" function is provided to help you use the product with ease.

- **Reboot**

Reboot the device completely.

Troubleshooting

1. Why does the outer frame leave an irregular shadow after keystone correction?

TI DLP projection cannot fill the whole screen. The true resolution fills only the actual display area and leaves the surrounding area unused. After keystone correction is complete, some display areas have shadows (unused areas) because XGIMI projectors use digital correction. Please rest assured when using the device.

2. Is it normal that the adapter gets warm after it is inserted into the projector?

Our adapters are tested and certified by security regulations. Normally, the electric power transmission can cause heat or small friction sound, which should not be a concern.

3. What can I do when there is no picture or when the sound and picture are not in sync?

For wireless projections, this issue may occur due to the app performance or the Internet speed.

If the projector is connected to HDMI or Bluetooth speaker, this issue may occur due to the brand and compatibility issues of the connected device.

4. What can I do if the focusing function does not work properly?

To resolve this issue, verify the following conditions:

- a. The auto focusing function is turned on in the focus settings.
- b. No object is in front of the projection lens or the sensor module.

If this issue persists, open "System Settings" to perform focus calibration.

If you still have questions, please contact service@xgimi.com.

Important Precautions

Correct use of the device:

- Do not face lens into eyes because the strong projector light may cause injury to the eyes.
- Do not block the air inlet/outlet of the device in order to avoid damage to internal electronic devices arising from normal heat dissipation failure of the device.
- Do not wipe the lens directly with cleaning tools including paper and cloth in order to avoid damage to the lens. Please clean up the dust on the lens surface through clean air blowing.
- Do not wash the device with chemicals, detergents, or any liquid in order to prevent the circuit board from being corroded by rainwater, moisture, and mineral-containing liquids.
- Keep the device and its components and accessories out of reach of children.
- Make sure that the device is used in a dry and ventilated environment.
- Do not store the device in overheated or overcooled places, because extreme temperatures will shorten the life of electronic devices. Place and use the device in an environment of 0°C-40°C.
- Do not put the device into any heating equipment (such as dryer and microwave oven) for drying.
- Do not firmly extrude the device or place barriers on it or its back to avoid damage to the device.
- Do not throw, strike, or sharply vibrate the device to avoid damage to the internal circuit board.
- Do not try to disassemble and assemble the device yourself. If any issue occurs, please contact the after-sales service of XGIMI.
- Do not repair any product on your own. If the device or any component cannot work properly, consult the after-sales service of XGIMI in a timely manner or return it to the factory for repair.
- Use careful with the earphone maybe excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.
- As with any bright source, do not stare into the direct beam, RG2 IEC 62471-5:2015.



RG2

FCC warning

The device meets provisions of part 15 of FCC rule. Operation meets the following 2 conditions: (1) the device will not cause harmful interference, and (2) the device must accept any interference received, including interference that may result in accidental operations. User manual or operating instructions shall remind users that intentional or unintentional modification and replacement of radiators without explicit approval from the responsible compliance party may prevent the user from operating the device. If the manual is provided in a form other than paper, such as, provided in computer disk through the Internet, then the information required in the section can be included in the manual in the alternative form under the premise that users can have access to the form information.

For B-class digital or peripheral device, instructions provided by users shall include the following or similar statements and put them in a prominent place of manual text:

Notes: the device has been tested to meet restrictions of part 15 of FCC rule on B-class digital device. These restrictions are aimed at providing the effective prevention of harmful interference in a residential installation. If installation and use are not made according to the instructions, the device will generate and radiate radio frequency energy, and may cause harmful interference to radio communication. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the device does cause harmful interference to radio or television reception (determined by stopping and starting the device), it is suggested that users should attempt to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reposition direction of receiving antenna.
- Increase the distance between the device and the receiver.
- Connect the device into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult distributors or experienced radio/television technicians to seek help.
- This device is acting as a slave and operating in the 2.4 GHz (2402-2480 MHz, 2412-2462 MHz) band or 5 GHz (5.180 GHz-5.240 GHz, 5.260 GHz-5.320 GHz, 5.500 GHz-5.700 GHz, 5.745 GHz-5.825 GHz) band.



FCC ID: 2AFENXL03A

CE Maintenance

1. Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type. Dispose of used batteries according to the instructions.
2. The product shall only be connected to a USB interface of version USB2.0.
3. Adapter shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.
4. EUT Operating temperature range: -10°C-40°C
5. Adapter:
The plug considered as disconnect device of adapter
Power supply and ADP (rating):
Input: AC 100 V-240 V, 50/60 Hz 1.5 A
Output: DC 19.0 V, 3.42A
6. The device complies with RF specifications when the device is used at a distance of 20 cm away from your body.
7. To prevent possible damage to hearing, do not listen at high volume levels for long periods.

Declaration of Conformity

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU.
This product is allowed to be used in some of EU member states. For example, the device can be used in the following Member States:

Operations in the 5.15-5.25 GHz band are restricted to indoor usage only.

This Frequency applies to the following Member States or the geographical area within a Member State where restrictions on putting into service or requirements for authorisation of use exist.

CE		!	
BE	EL	LT	PT
BG	ES	LU	RO
CZ	FR	HU	SI
DK	HR	MT	SK
DE	IT	NL	FI
EE	CY	AT	SE
IE	LV	PL	UK

Radiation Exposure Statement

For remote control, this device complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.

The transmitter shall not be placed or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

For the LED projector, the device meets FCC radiation exposure limits specified for uncontrolled environments. In the installation and operation of the device, the distance between radiator and body should be at least 20 cm.

Notes: 5150-5250 MHz frequency range is only for indoor use.

This Frequency applies to the following Member States or the geographical area within a Member State where restrictions on putting into service or requirements for authorisation of use exist.

Disposal instructions for used products:



The product is designed and manufactured with high quality materials and components that are recyclable.



This symbol on the product indicates that it is protected under the Directive 2012/19/EU.

BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

* Only use attachments/accessories specified or provided by the manufacturer (such as the exclusive supply adapter etc).

* Beware that this product may emit harmful light radiation.

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd.

Building A4, No. 1129 Century City Road, New and High-tech zones, Chengdu City, China
www.xgimi.com service@xgimi.com

